

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	共通授業	2024年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	
必修	デッサン基礎Ⅰ 共通Ⅰ-1人体構成デッサン	実習	永井俊一	
授業の到達目標 (目標とする検定)	デッサン道具の使い方とデッサンの基本的な知識・手順を学ぶ。 人体の各部を様々な角度から観察し形態や構造を探り描写・表現する。			
授業の内容	<p>期間:4/8~4/18 AM 計8コマ</p> <p>共通授業の前半は「人体」をテーマとした課題を制作します。 今年度初めの課題では、最も身近なモチーフである「自分の顔や体の部分」を良く観察して描きます。</p> <p>人体各部の比例や構造について知ることは人体描写や塑像の場合の目安になります</p> <p>①クロッキー 時間をかけて形態を追求するデッサンに対して対象の印象や特徴を端的につかみ取るのがクロッキーです まずは自身の顔の部分や手、足などを様々な角度からクロッキー帳にスケッチして構造を理解します</p> <p>②デッサン それらを1枚の用紙(木炭紙または木炭紙大TMKポスター紙)に、対象の形態、構造、明暗の分布などを考えながら時間をかけて描きます</p> <p>1枚の画面の中にモチーフ(人体各部)の配置や構図を考える事にも注意します (各部それぞれの大きさ・比率は自由)</p>			
週	授業計画 及び 学習の内容			
1	4/8 前提講義 4/9~11制作			
2	4/15~17、制作 4/18 講評			
成績評価の方法				
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況				
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)				
Webポータル参照				
授業持ち物	学校で準備する教材など			
授業内で説明します ・デッサン用具一式 ・木炭紙大カルトン ・木炭紙5枚以上(下敷き分も含む) ※日本画コースは鉛筆デッサンでも可、その場合はTMKポスター紙を木炭紙大に切って使用 ※木炭紙、TMKポスター紙は事務室で販売します(授業の説明後に各自購入する事)	・鏡 ・木炭紙大画板 ・人体骨格見本・解剖図			
配付資料				

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	共通授業	2024年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	
必修	デッサン基礎 I 共通 I -2 塑像I	実習	工藤里紗	
授業の到達目標 (目標とする検定)	粘土に手で触れながら塑像をつくる体験を通して、対象物の量感や質感を理解する。			
授業の内容	<p>期間:4/22~4/25 AM 4コマ</p> <p>頭蓋骨の模型をモチーフに、人物の頭部を構造体として捉えて粘土で制作する。顔の正面だけではなく奥行や側面などを意識する事。</p> <p>自分の手で直接粘土に「触れる」という体験を通して、対象物を視覚的に捉えるだけではなく、対象の量感や質感を感じながら見ることを学ぶ。</p>			
週	授業計画 及び 学習の内容			
3	4/22前提講義～制作 4/25講評			
成績評価の方法				
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況				
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)				
Webポータル参照				
授業持ち物	<ul style="list-style-type: none"> 作業着 不要な布(不要なTシャツやタオルなどでも可) ※粘土が乾かないよう途中の作品に巻いておくため クロッキー帳、描画道具 粘土べら(持っている方は持参してください) 			学校で準備する教材など
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> 頭蓋骨模型 粘土 塑像板、 ゴミ袋(人数分) 粘土べら 			

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	共通授業	2024年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	
必修	デッサン基礎 I 共通 I -3石膏デッサン	実習	永井俊一	
授業の到達目標 (目標とする検定)	「構図・形・光と影」を意識して、立体的なものの見方と表現方法を学ぶ。			
授業の内容	<p>期間:5/7-5/9 AM 3コマ</p> <p>デッサンは合理的な手順をふめば三次元にある事物を二次元(平面)に置き換えることができます。この授業では、石膏像をモチーフとしたデッサンを制作します。</p> <p>ギリシャ、ローマ時代の彫刻を模した石膏像をモチーフに使うのは、西洋画のアカデミックなデッサン教育の柱になっています。</p> <p>この時代の彫刻は理想的なプロモーションやバランスの取れた量感を表現の核としているため、描くこと自体で美しいものに触れることとなります。また、白無地であることでデッサンの基本となる「形」や「明暗」を描くトレーニングになります。</p>			
週	授業計画 及び 学習の内容			
4	5/7前提講義 ～制作 5/9 講評			
成績評価の方法				
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況				
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)				
Webポータル参照				
授業持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ・デッサン用具一式 ・木炭紙大カルトン ・木炭紙5枚以上(下敷き分も含む) ※日本画コースは鉛筆デッサンでも可、その場合はTMKポスター紙を木炭紙大に切って使用 ※木炭紙、TMKポスター紙は事務室で購入できます			学校で準備する教材など <ul style="list-style-type: none"> ・石膏像(アマゾン、ラボルトなど) ・木炭紙大画板
配付資料				

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	共通授業	2024年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	
必修	デッサン基礎 I 共通 I -4人体デッサン(ヌード)	実習	武井好之	
授業の到達目標 (目標とする検定)	「人体(全身)」の基本的なプロポーションを理解し、構造的に表現する。			
授業の内容	<p>期間:5/13~5/16 AM 4コマ</p> <p>人体の全身をバランスよく1枚の紙に描くのは難しいものです。なるべく大きく、且つ画面からはみ出さないようにするには、モデルをよく観察して全身のプロポーションを確認する事が大切です。観察と描写を繰り返すことで、機能的な美しさを発見する事でしょう。肌の質感、光と影にも注意して存在感のあるデッサンを制作します。</p> <p>授業の中では固定デッサンの前にクロッキーを制作します。クロッキーは5分や10分など短い時間で対象物を描くことで、全体の構造や動きをとらえる訓練になります。大きなサイズのクロッキー帳を用意しましょう。</p> <p>【モデル授業の注意事項(学校より)】 ポーズの始まりと終わりには挨拶をしましょう。原則としてモデルさんには話しかけないこと。写真撮影は禁止です。携帯・スマートフォンはカバンの中に入れておきましょう。室温はモデルさんを基準に設定します。</p>			
週	授業計画 及び 学習の内容			
5	5/13前提講義〜クロッキー・デッサン制作 5/16 講評			
成績評価の方法				
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況				
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)				
Webポータル参照				
授業持ち物		学校で準備する教材など		
<ul style="list-style-type: none"> ・B4(またはF4号)より大きいサイズのクロッキー帳 ・デッサン用具一式 ・木炭紙大カルトン ・木炭紙5枚以上(下敷き分も含む) ※日本画コースは鉛筆デッサンでも可、その場合はTMKポスター紙を木炭紙大に切って使用 ※木炭紙、TMKポスター紙は事務室で購入できます		<ul style="list-style-type: none"> ・モデル(女性・ヌード) モデル台 ・木炭紙大画板 ・人体骨格見本・解剖図 ・木炭紙大のクロッキー帳 (デモンストレーション用) 		
配付資料				

渋谷ファッション & アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	共通授業	2024年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	
必修	デッサン基礎Ⅱ 共通Ⅰ-5静物構成デッサン	実習	木村繁之	
授業の到達目標 (目標とする検定)	絵画における「構図」の基本的な考え方を学ぶ モチーフをよく観察し、「形状」「構造」「質感」を意識して表現する 画面の中において床やテーブルの在り方、背景としての壁や空間の処理を考える。			
授業の内容	期間:5/20~6/6 AM 12コマ 構図は人体の骨格のようなものです。人体デッサンで髪型や目鼻の描写よりも全身のバランスが大切なのと同様に色彩に凝っても描写が巧くても構図が悪ければ良い絵にはなりません。 制作では最初に向き合う構図に時間をかけることが重要です。 また、絵画絵面において対象物と背景、図と地の関係性を考えましょう。 1週目の課題:前提講義 日本美術における様々な構図と現代絵画作品の構図 構図の演習課題(モトーンシートを使ったコラージュ制作) 設置されたモチーフを様々な角度からスケッチブックに描く。 対象物を様々な角度から描き出し形態や構造を探ること。 2週目の課題:モチーフの遠近感と画面の構図を考えて描く。 設置されたモチーフを木炭紙大の1枚の画用紙に画面内の配置や構図を考えて描く。 3週目の課題:背景・空間を描く。(背景に新たなモチーフが追加されます) 2週目に制作したデッサンに加筆し、対象物の細部を含めた形態や背景の関係を考えて描く。 物と物の前後関係、台や床との接地点、空間を意識した光の明暗変化を描き込み、画面を完成させる。			
週	授業計画 及び 学習の内容			
6	5/20 前提講義 コラージュ演習の説明			
	5/20~5/21 コラージュ演習			
	5/22~5/23 スケッチ~制作 (それぞれのモチーフを観察してスケッチブックに描く・静物画の構図を考える)			
7	5/27~5/30 静物画制作 (設置されたモチーフを木炭紙大パネルに描く) ※5/27に水張り講習を行います			
8	6/3~6/6 静物画制作 (追加された背景・空間を含めて描く) 6/6 講評			
成績評価の方法				
・課題の提出 ・制作作品 ・講習会の出席状況				
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)				
Webポータル参照				
授業持ち物	・鉛筆デッサン用具一式 ・TMKポスター紙を木炭紙大パネルに水張りする ・水張りテープ(他の授業でも使用します) ※TMKポスター紙は事務室で購入できます ※水張りは授業内で指導します			学校で準備する教材など ・モチーフ ・木炭紙大パネル(人数分) ※パネルはこの後の共通授業でも使用します ・水張り用の刷毛
配付資料				

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	共通授業	2024年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	
必修	デッサン基礎Ⅱ 共通Ⅰ-6色彩構成Ⅰ	実習	永井俊一	
授業の到達目標 (目標とする検定)	「色彩」についての基本的な知識を学ぶ。 それぞれの色が持つ特性を理解し、効果的な色面を構成する方法を学ぶ。			
授業の内容	<p>期間::6/10~6/20 AM 8コマ</p> <p>前半は、色の三属性(色相・明度・彩度)に関する講義と、小さな課題で色彩の知識を身につける。</p> <p>後半は、身につけた色彩の知識を活かして1枚の作品を制作する。 最終日に講評をします。</p> <p>※この授業の間に「作品タイトル」についての講義を行います。</p>			
週	授業計画 及び 学習の内容			
9	6/10~6/13 色彩に関する講義と小課題の演習			
10	6/17~6/19 課題制作 6/20講評			
成績評価の方法				
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況				
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)				
Webポータル参照				
授業持ち物	学校で準備する教材など			
<ul style="list-style-type: none"> ・スケッチブック、はさみ、カッター、のり、定規 ・筆、パレット、筆洗 ・色の画材 (色鉛筆 水彩絵具 水彩筆など 持っているもので良いです) ※アクリルガッシュは学校教材としても若干用意いたしますが、今後使用する方は個人購入をお勧めします ※トータルカラー(事務室で販売しますので、事前に購入してください) ・画用紙を水張りする ・水張りテープ(他の授業でも使用します) ※水張りは授業内で指導します 	<ul style="list-style-type: none"> ・木炭紙大パネル(人数分) ・アクリルガッシュ、筆 ・トータルカラー、課題用紙、 ・カッターマット、ホッチキス、 ・PCとモニタ ・水張り用の刷毛 			
配付資料				

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期	
文化専門課程	美術表現科	共通授業	2024年度	前期	
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員		
必修	デッサン基礎Ⅱ 共通Ⅰ-7静物着彩	実習	清水健太郎		
授業の到達目標 (目標とする検定)	4月から先週までの共通授業で学んだ多くの経験を活かし、描く力と共に独自の視点や画面構成、色彩的発想力など基本的な造形力をさらに高める。				
授業の内容	<p>期間:6/24～7/11 AM 12コマ</p> <p>大型の組みモチーフを対象に、独自の視点を基にした取材を行い、柔軟な構成や色彩的展開を試みた着彩作品を制作する。</p> <p>【前半:エスキース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型モチーフを様々な視点による観察・取材を行い、「奥行」「明暗」「質感」「面と線」などを意識した画面構成をクロッキーやエスキースを通して模索する。この際にモチーフの固有色のみにとらわれず、自由な発想による色彩効果も試みる。 ・エスキースの段階から自分が使いやすくイメージを形にしやすい描画材を色々と試してみましょう。 <p>【後半:静物着彩の制作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前半で作成したエスキースを基に、より豊かな絵画空間を目指して着彩作品を完成させる。 				
週	授業計画 及び 学習の内容				
11	6/24前提講義～エスキース～制作				
12	7/1～7/4 制作				
13	7/8～7/10 制作 7/11講評				
成績評価の方法					
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況					
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)					
Webポータル参照					
授業持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆デッサン用具一式 ・色の画材 (水彩絵具用具、アクリル絵具用具、カラーコンテ(コンテクレヨン等)、色鉛筆 クレヨン カラーペンなど持っているもので良いです)※油彩も可 ・TMKポスター紙又は画用紙を木炭紙大パネルに水張りする ・水張りテープ(他の授業でも使用します) <p>※TMKポスター紙や画用紙は事務室で購入できます ※水張りは授業内で指導します</p>			<p>学校で準備する教材など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モチーフ ・木炭紙大パネル(人数分) ・透明水彩・不透明絵の具(デモンストレーション用) ・水張り用の刷毛 	
配付資料					

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2024年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	
必修	表現演習基礎 絵画 I -1油彩導入①	実習	佐藤功 飯美樹	

授業の到達目標 (目標とする検定)	油彩画材についての基本的な知識と制作手順を学ぶ。 題材の選び方から構図の重要性を理解する。
----------------------	--

授業の内容	<p>期間:4/8~4/25 PM 計12コマ</p> <p>画材についての基本的な知識を身につけると共に、絵具の持つ表情の豊かさを探ります。 今後油絵を描いていく上での基本的な知識を知り、油絵を描いていく上での手順を学びます。 静物画課題の取り組み方を理解し、構図、下書き、着彩、それぞれの手順や留意点を学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵具の構造や特性について ・画材の準備や扱い方について ・支持体について(キャンバスの張り方) ・絵具による混色とマチエールの多様性 <p>以上を講義と実習をとおして学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作の準備及び基本的な制作手順の解説 ・パレットへの色置き、混色 ・明暗と色彩の関係 ・構図の考え方 ・画布への表現の多様性 ・質感表現 <p>以上を講義と実習をとおして学びます。</p>
-------	--

週	授業計画 及び 学習の内容
1	4/8 前提講義 エスキース制作 この間にキャンバス張り実施
2	制作
3	制作 4/25講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

Webポータル参照

<p>授業持ち物 (初日に必要なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロッキー帳(エスキース用) 鉛筆 ねりゴム ・彩色できる画材 <p>(色でエスキースをするため 色鉛筆 水彩絵具 水彩筆など 持っているもので良いです)</p> <p>(授業が始まってから必要なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・油彩用具一式 <p>(授業の中で必要な画材の説明をします 持っていない方は説明を聞いてから購入してください)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・F10号木枠 ・F10号画布※学校で用意します(有料) <p>※キャンバスを張る実習を行います</p>	<p>学校で準備する教材など</p> <p>デモ用の用具</p> <ul style="list-style-type: none"> キャンバス張り器 金づち ペンチ 木枠・カットキャンバス(F10号)人数分 キャンバス用釘・無地布+柄布 幾何石膏 その他、質感と色の異なるモチーフを数点(ガラス器、瓶、ホーローなど)
--	---

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2024年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	表現基礎演習 絵画 I -2油彩導入②	実習	阿部達也 飯美樹

授業の到達目標 (目標とする検定)	油彩画材についての制作手順を学ぶ。 構図の重要性を理解し、一枚の作品として仕上げる。
----------------------	---

授業の内容	<p>期間:5/7~5/23 PM 計11コマ</p> <p>画材についての基本的な知識を身につけると共に、絵具の持つ表情の豊かさを探ります。</p> <p>前回描いた静物画課題の取り組み方を思い出し、構図、下書き、着彩、それぞれの手順の留意点を再確認しながら下記進めましょう。 画面も少し大きくなりますので、より深い観察力や描写力が必要になります。</p> <p>様々なモチーフを繰り返し描く事を経験し、絵画に対する知識や技術が深まります。</p>
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
4	5/7前提講義 エスキース制作
5	制作
6	制作 5/23講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
Webポータル参照

<p>授業持ち物</p> <p>(初日に必要なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロッキー帳(エスキース用) 鉛筆 ねりゴム ・彩色できる画材 <p>(色でエスキースをするため 色鉛筆 水彩絵具 水彩筆など 持っているもので良いです)</p> <p>(授業が始まってから必要なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・油彩用具一式 キャンバス F15号 	<p>学校で準備する教材など</p> <p>静物用モチーフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無地布+柄布 ・幾何石膏 ・その他、質感と色の異なるモチーフを数点(ガラス器、瓶、ホーローなど)
--	---

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2024年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	美術表現基礎 I 絵画 I -3風景画	実習	清水健太郎

授業の到達目標 (目標とする検定)	日常空間に潜む造形性を見つけ出す視点を養うと共に、目の前に広がる空間を絵画の空間として魅力的に発展させる表現力を養う。
----------------------	---

授業の内容	<p>期間:5/27~6/13 PM 12コマ</p> <p>校内の空間から任意の場所を選んで風景画を制作する。 基本的な遠近法や画面構成に注意して奥行きのある空間を表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パースペクティブ(透視図法)の理解 ・奥行きや前後関係の表現 ・光と影による造形的展開 ・空間のトリミングや構図、要素の構成について <p>以上を講義と実習をとおして学びます。 (基本的には校内風景だが、近隣の風景を取材しモチーフとするのも可)</p>
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
7	5/27前提講義 ~エスキース~制作
8	制作
9	制作 6/13講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
Webポータル参照

授業持ち物	学校で準備する教材など
<ul style="list-style-type: none"> ・クロッキー帳(エスキース用)・鉛筆デッサン用具一式 ・油彩用具一式 ・10~15号キャンバス 	

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2024年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	
必修	美術表現基礎 I 絵画 I -4人物画(ヌード)	実習	阿部達也	

授業の到達目標 (目標とする検定)	モデルをよく観察して人体の機能的なバランスの美しさを発見する。 肌の質感、光と影、画面全体の空間意識などに注意して作品を完成させる。
----------------------	---

授業の内容	<p>期間:6/17~7/11 PM 16コマ</p> <p>油彩の画材の段階的プロセスを実習を通じて習得します。 絵の具の特質を理解し、形体と色彩を統合した空間表現を学びます。 静物画実習の油彩画、デッサンにおける人体の認識を踏まえ、人体を表現します。 肌色とその明暗表現を、過去の巨匠たちの作例も参照し研究するとともに、人体を構造として理解し、プロポーション、コンポジション、ムーヴマン等にも留意して制作します。</p> <p>※10月の学園祭で展示する候補作品とします</p>
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
10	6/17前提講義 ~20 デッサン ~21エスキース~制作
11	制作
12	制作
13	7/11 講評 夏休み前大掃除

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
Webポータル参照

授業持ち物	学校で準備する教材など
クロッキー帳、デッサン用具一式、 油彩用具一式 キャンバス(F15号)	・モデル(女性・ヌード) ・モデル台 ・背景のきっかけとなるモチーフ 濃色の布、壁かけなど

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2024年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	
必修	美術表現基礎Ⅱ 絵画Ⅰ-5名画研究(自画像)	実習	大家康仁	

授業の到達目標 (目標とする検定)	様々な名画を鑑賞してその構図や技法を調査・研究する。 研究の成果を踏まえ、構図・明暗・色彩・タッチなどを参考に自分の作品を制作する。
----------------------	---

授業の内容	<p>期間:9/9～9/26 AM/PM 20コマ</p> <p>長い歴史の中で描かれてきた数々の名画を参考にしながら、自分なりのスタイルを探ります。</p> <p>【自画像について】 生涯において何枚もの自画像を描いている作家がいるように、自分の顔はもっとも身近なモチーフです。鏡の中の自分の顔は毎日変わらないように思えますが、その日その時の心情を映し出しているものです。その時期にしか描けない自分と向き合い改めて良く観察して描写しましょう。 顔を中心に制作しますが、着ている服や上半身までを表現することも効果的です。</p> <p>また、研究の際は表面的な技法だけでなく、その作家がなぜそのような表現で描いたのかをよく吟味しましょう。作品制作の際には、単なる模写をするのではなく、自分なりのアレンジを試してみましょう。 複数の作家のタッチや色彩を組み合わせても良いが目指すイメージを明確にしながらか進めること。</p>
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
15	9/9前提講義 名画の研究 エスキース制作
16	9/16休日 9/17～19制作
17	9/23休日 9/24、25制作 9/26講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
Webポータル参照

授業持ち物	学校で準備する教材など
・クロッキー帳 ・10～15号キャンバス ・油彩用具一式	・鏡(人数分)

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2024年度	後期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	美術表現基礎Ⅲ 絵画Ⅰ-6動物・植物(静物着彩)	実習	永井俊一

授業の到達目標 (目標とする検定)	動物(鳥などを含む)の骨格や構造を理解し、画面を空間的に構成する。 人体を描く場合と、動物を描く場合の画面全体の組み立て方の違いを学ぶ。
----------------------	---

授業の内容	<p>期間:9/30~10/17 AM/PM 計22コマ</p> <p>動物剥製は静物のモチーフとしてとても魅力あるものです。制作にあたっては下記の工程で行います</p> <p>①スケッチ・デッサン この課題では、まずメインとなる動物を良く観察してスケッチやデッサンを行い、体の構造や質感を理解します。</p> <p>②エスキース その後に静物モチーフのなかからどこを見せ場にするかを検討するエスキースを複数制作します。</p> <p>③本制作 検討修正されたエスキースを基に、動物の自然なプロポーションや質感が表現できるか、物と物との関わり合いが観察・表現できているかを自身に問いながら1枚のタブローに仕上げます。</p> <p>※10月の学園祭で展示する候補作品とします</p>
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
18	9/30前提講義 ~10/2スケッチ、デッサン、エスキース 10/3制作
19	10/7~10制作
20	10/14休み 10/15、16制作 10/17講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
Webポータル参照

授業持ち物 クロッキー帳、デッサン用具一式、 油彩用具一式 キャンバス(F20号)	学校で準備する教材など ・モチーフ(剥製含む)
--	----------------------------

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2024年度	後期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	美術表現基礎Ⅲ 絵画Ⅰ-7人物と空間	実習	佐藤功

授業の到達目標 (目標とする検定)	人体の構造を理解した上で、その表面にまつた服地の素材感や人物を取り巻く環境との関わりを総合的に描写する事を目標とする。
----------------------	---

授業の内容	<p>期間:11/5～11/21 AM/PM 計22コマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人体デッサン(着衣)から構図を考えて、画面を構成する ・人体と衣服の関係性をしっかり把握することが大切です。人体デッサンの課題で学んだポイントを下地にして取り組んでください。 ・人物とその周りの空間を含めた前後関係や奥行を意識した画面構成となるように、エスキースに充分時間をかけて作品の構想を練ること。 ・油彩画の良い点は思い切った変更が可能ということ。制作を進めながら必要に応じて引き返す勇気を持ってほしい。 <p>※制作の一連の流れを通して修了制作へ向かうステップにします。</p>
-------	--

週	授業計画 及び 学習の内容
21	11/5前提講義 ～11/7制作
22	制作
23	制作 11/21講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
Webポータル参照

授業持ち物	学校で準備する教材など
クロッキー帳、デッサン用具一式、油彩用具一式 キャンバス(F20号)	・モデル(着衣指示) ・背景や小物

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2024年度	後期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	美術表現演習 絵画 I -8絵画制作研究(スケッチブック)	実習	永井俊一

授業の到達目標 (目標とする検定)	修了制作の準備としてこれから制作する作品のテーマを探る。 様々な表現技法を試し制作の幅を広げる。
----------------------	---

授業の内容	<p>期間:11/25~12/12 AM/PM 計24コマ</p> <p>今回の課題では、年度末にかけて制作する修了制作に向けて作品のテーマや技法の試作をまとめた1冊のスケッチブックを制作します。</p> <p>課題の中では取材～エスキース～作品制作というプロセスを想定した作業を行います、絵の描き方に「こうでなければならない」というルールはありません。体験した技法を基に自分なりの表現を織り交ぜながら自らが描く作品のテーマについて向き合い、描きたい絵の方向を見つけていきます。</p>
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
24	11/25 前提講義 ～取材・素材収集など
25	エスキース・ドローイング・試作など
26	スケッチブックの編集 12/12 発表会

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
Webポータル参照

<p>授業持ち物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロッキー帳、デッサン用具一式、 ・色の画材 (色鉛筆 水彩絵具 水彩筆など) ・スケッチブック編集用の道具(はさみ、カッター・のり、定規など) <p>※スケッチブックのサイズなど、支持体については別途お知らせします</p>	<p>学校で準備する教材など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モチーフ ・デモンストレーション用画材
--	--

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2024年度	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	
必修	美術表現基礎演習制作 絵画 I -9修了制作	実習	永井俊一 大家泰仁 浅野純人 佐藤功	

授業の到達目標 (目標とする検定)	1年間の学びの集大成として、外部に発表し鑑賞されることを目的とした作品を制作する。
----------------------	---

授業の内容	<p>期間:12/16~2/13 AM/PM 計44コマ</p> <p>修了制作について 本校は1年制の学校であるため、1年毎に修了となります。そのため1年間の学習の成果を問う形で、毎年修了作品を制作します。 現時点での各人の制作スキルを活かし、制作テーマを考え、集中的に作品を制作する機会が修了制作です。各人の制作の構想、エスキースを元に先生方と相談しながら進行していきます。</p> <p>以下より選択してください。 テーマ ・静物 ・風景(室内も含む) ・人物</p>
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
27	12/16前提講義・導入 ~エスキース
	冬季休業
28	1/14計画書提出 制作
29	制作
30	制作 中間講評(日程は別途お知らせします)
31	制作
32	制作 修了制作展で講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
Webポータル参照

授業持ち物	学校で準備する教材など
クロッキー帳(エスキース用)、デッサン用具一式 油彩用具一式 キャンバス(30号相当)	・修了制作計画表用紙 (作品名・展示計画含む)

配付資料

永井俊一

経歴

1966年 東京都生まれ

1991年 東京藝術大学美術学部デザイン科卒業

1996-2018年 株式会社オリエンタルランドに勤務 商品デザイン制作・商品アート制作に従事

2015-2018年 東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」に参加

2019年 専修学校教員教職課程研修修了

現在 本校文化専門課程専任教員

工藤里紗

1980 東京都生まれ

2005 武蔵野美術大学造形学部彫刻科卒業

2011 東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了

2005～09、2015 アトリエの末裔あるいは未来展(旧平櫛田中邸)

2010 彫刻三人展(土屋現代画廊)

2012 個展(ギャラリーモーツァルト)

2014 「木の系譜ー進化する奔流ー」(高島屋 東京日本橋／大阪／横浜)

2015 グループ展(ポスターハリスギャラリー)

2017 グループ展「Current Traditions: Contemporary Japanese Wood Sculpture」(SU Art Galleries)

2019 個展(Gallery gigi)

2020、2022 グループ展(Gallery gigi)

2019 詩集『植物考』表紙(仲田有里著・思潮社)、2022 詩集『持ち重り』表紙(鎌田尚美著・思潮社)

武井好之

略歴

1956 神奈川県平塚市に生まれる

1981 東京芸術大学絵画科日本画専攻卒業

1983 東京芸術大学大学院美術研究科日本画専攻修了
(修了模写台東区買い上げ)
院展初入選(2009まで出品)

1988 有芽の会 法務大臣賞受賞〔法務省買い上げ〕

2007 「更正保護」法務省保護局 表紙製作
(2007～2008)

2014 「鴨長明」連載小説挿絵制作
(作 島内景二、電気新聞)

作品収蔵

外務省 法務省 康耀堂美術館 成川美術館
松岡美術館 更生保護施設がじゅまる沖縄

木村繁之

1957 愛媛県生まれ

1983 多摩美術大学大学院修了

1985-86 文化庁芸術家在外研修員としてイギリス・ロンドンで制作

1985 日本版画三十位展 中華民国-台北

1991 アクリラート展 目黒区美術館

1996 畦地梅太郎記念美術館 愛媛県

1998 現代日本版画展 ティコティン日本美術館 ハイファ イスラエル

1999 メディテーション 真昼の瞑想 (90年代の日本の美術) 栃木県立美術館

2005 現代版画の潮流展 町田国際版画美術館、松本市美術館

2006 DOMANI 明日を担う美術家たち 損保ジャパン東郷青児美術館 東京

2008 半島・日本版画招待展 中華人民共和国 上海

2010 イノセンス いのちに向きあうアート 栃木県立美術館

2019 詩をかたどる 詩を刻む-祈りの庭へ 高崎市美術館

横浜美術館、町田国際版画美術館、愛媛県美術館にて版画講座

ロイヤル・カレッジ・オブ・アート、イーストロンドン大学(イギリス、ロンドン)にて講演及び制作実演を行う

ギャラリー椿 (東京)、ギャラリーたむら (広島)を中心に個展を開催

多摩美術大学、武蔵野美術大学、東京造形大学、明星大学にて講師を務める

装丁装画100冊、

新聞挿絵、絵本などを手がける

清水健太郎

略歴

- 1972 東京都生まれ
- 1995 工学院大学 電子工学科卒業
- 1999 武蔵野美術学園 油絵科卒業
- 2001～2005 武蔵野美術大学 助手(通信教育課程研究室)
- 2006～2009 武蔵野美術大学 文科省選定現代GP「造形ファイル」開発室 主任
- 現在 二紀会 会員
日本美術家連盟 会員
渋谷ファッション&アート専門学校 専任教員
武蔵野美術大学 講師(通信教育課程油絵学科)

主な個展

- 2006 ギャラリーヴェルジェ(相模原)
- 2010 ギャラリー吉豊(銀座)
アートフォーラム千(福岡)
- 2012 ギャラリー檜(銀座)
- 2013 SAN-AI GALLERY(日本橋)
- 2014 コートギャラリー国立(国立)
- 2015 FEI ART MUSEUM YOKOHAMA(横浜)
- 2016 リベストギャラリー創(吉祥寺)
- 2017 光画廊(銀座)
- 2018 東京都美術館(東京二紀展 特別展示)(上野)
THE ARTCOMPLEX CENTER OF TOKYO(新宿)
F.E.I Art Gallery(横浜)
- 2021 SAN-AI GALLERY(日本橋)
光画廊(銀座)
F.E.I Art Gallery(横浜)
- 2022 ギャラリーあづま(銀座)
- 2023 コートギャラリー国立(国立)9月予定

主なグループ展

- 1999～ 二紀展(以後毎年出品 03,奨励賞 07,同人推挙 11,同人賞 16,準会員賞 17,会員推挙)
- 2004 多摩秀作美術展(青梅市立美術館)、伊豆美術大賞展(伊東市観光会館)
- 2007・2018 前田寛治大賞展(日本橋高島屋・倉吉博物館)
- 2019 第1回二紀会選抜台湾展(台湾・台北 国立臺灣藝術大学)
- 2017・2021・2022 「われらの地平線」展(日本橋三越)

その他グループ展多数

- 作家HP <https://shimiken1008.wixsite.com/kentaro-shimizu>
- インスタグラム <https://www.instagram.com/shimiken1008/>

佐藤功

1972 岩手県生まれ

1999 武蔵野美術学園 夜間油絵科卒業

2001 第75回国展(以後毎 /'07'19を除く)

2004 昭和会展招待出品(日動画廊)

2006 個展「レスポワール展」(銀座スルガ台画廊)

2007 多摩秀作美術展出品(賞候補)

2008 第82回国展 新人賞 準会員推挙

2009 リアリズムの世界展(飯田美術/以後毎)

2010

佐々木豊と4人展(飯田美術/以後毎)

新・リアリズム宣言展(新生堂/'13 '15)

個展(銀座スルガ台画廊)

2011 美は細部に宿る展(日本橋高島屋)

2012 三越美術特選会(日本橋三越本店)

2014 第88回国展 会員推挙

三越美術逸品会(ホテルニューオータニ)

2018 SINCE展(大阪高島屋/'20 '22)

神戸アートマルシェ(神戸メリケンパークオリエンタルホテル/川田画廊)

2019 個展(飯田美術)

2021 個展(日本橋三越本店)

現在国画会会員

◆ホームページ

<https://isaosato.net/>

◆ツイッター

twitter.com/Sato_Isao_

◆インスタグラム

[instagram.com/sato_isao_55555](https://www.instagram.com/sato_isao_55555)

◆フェイスブック

[facebook.com/profile.php?id=100009160388095](https://www.facebook.com/profile.php?id=100009160388095)

飯美樹

●略歴

1978 東京都生まれ

2001 青山学院大学法学部卒業

2002-2007 フリーランスにて番組用タイトル、PV映像等のアニメーション制作に参加

2010 武蔵野美術学園絵画コース研究課程修了

●主な展示

2011 新制作展 (2012、2014、2015、2016、2017、2018、2021)

2011 個展 京橋・ギャラリー檜B (2013)

2012 第41回多摩美術家協会展招待/パルテノン多摩 (~2018)

2012 「M PICTURE」銀座GALERIE SOL (2014、2015、2016、2019)

2013 第31回上野の森美術館大賞展 入選

2013 「Art Wave exhibition vol20」 Recto Verso Gallery

2014 個展 /京橋・ギャラリー檜plus

2015 「美術家連盟新会員奨励展」銀座 美術家連盟画廊

2016 個展 京橋Gallery b.Tokyo

2018 個展 京橋Gallery b.Tokyo

2021 個展 artcomplex center of tokyo

他、グループ展多数

現在 日本美術家連盟 会員

Jeugiaカルチャーセンター立川立飛 講師

阿部達也

経 歴

- 1974 東京都青梅市出身
- 1999 武蔵野美術大学油絵学科 卒業
二紀展SOMPO美術館賞 等
- 現在 二紀会準会員

大家泰仁

1965 大阪府出身

1993 武蔵野美術大学油絵学科卒業

個展

1998 かねこアートギャラリーにて個展(京橋)

1999 小野画廊ギャラリーB1にて個展(京橋)

2010 なびす画廊にて個展(銀座)

2011 なびす画廊にて個展(銀座)

2012 なびす画廊にて個展(銀座)

2012 調布画廊にて個展(調布市)

2014 なびす画廊にて個展(銀座)

2015 なびす画廊にて個展(銀座)

2018,9 画廊楽にて個展(横浜)

2020 藍画廊にて個展(銀座)

2021 表参道画廊にて個展(渋谷区神宮前)

2022 ギャラリーあずまにて個展(銀座)

グループ展

1998,1999 多摩うるおい美術展に出品(パルテノン多摩)

1999 昭和シェル現代美術展に出品(目黒区美術館)

2013 武蔵野美術大学通信教育課程 絵画コース教員作品展(小平市鷹の台校 G-FAL)

2015~12 宮本三郎記念デッサン大賞展に出品(小松市立宮本三郎美術館 石川県)
(世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館 世田谷区)

2016「二月のおくりもの」大家泰仁、小野寺潮 二人展(なびす画廊、銀座)

2016 「ドローイングとは何か」第6回全国公募入賞・入選作品展 (ギャラリー志門、銀座)

2019 アートハウスおやべ現代造形展 (アートハウスおやべ 富山県)

2021 WALK THE LINE 6 線に生きる作家たち 後期(ギャラリー志門、銀座)

2022 WALK THE LINE 7 線に生きる作家たち(ギャラリー志門 銀座)

浅野純人

経歴

- 1979 福岡生まれ
- 2003 多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻卒業
- 2005 東京藝術大学大学院美術研究科壁画専攻修了

個展

- 2004 ギャラリー58(銀座 08年,10年)
- 2006 フタバ画廊(銀座)
- 2011 ギャラリーとわーる(福岡)

職歴

- 2005～2016 小松原高等学校(埼玉 南浦和) 美術科非常勤講師
- 2006～現在 あ一と屋図工室(茨城 取手) デッサン、水彩、こども教室主宰
- 2016～2019 獨協埼玉中学高等学校(埼玉 越谷) 美術科非常勤講師
- 2016～現在 開智望小学校(茨城 つくばみらい) 放課後アート教室主宰
- 2015～現在 田中千代ファッションカレッジ(東京 原宿)
現 渋谷ファッション&アート専門学校 デッサン、色彩構成他講師
- 2019 東京コミュニケーションアート専門学校(東京 西葛西) デッサン講師
- 2020～現在 取手市立小学校放課後児童クラブ アーティスト派遣事業 コーディネーター